

今日はね。

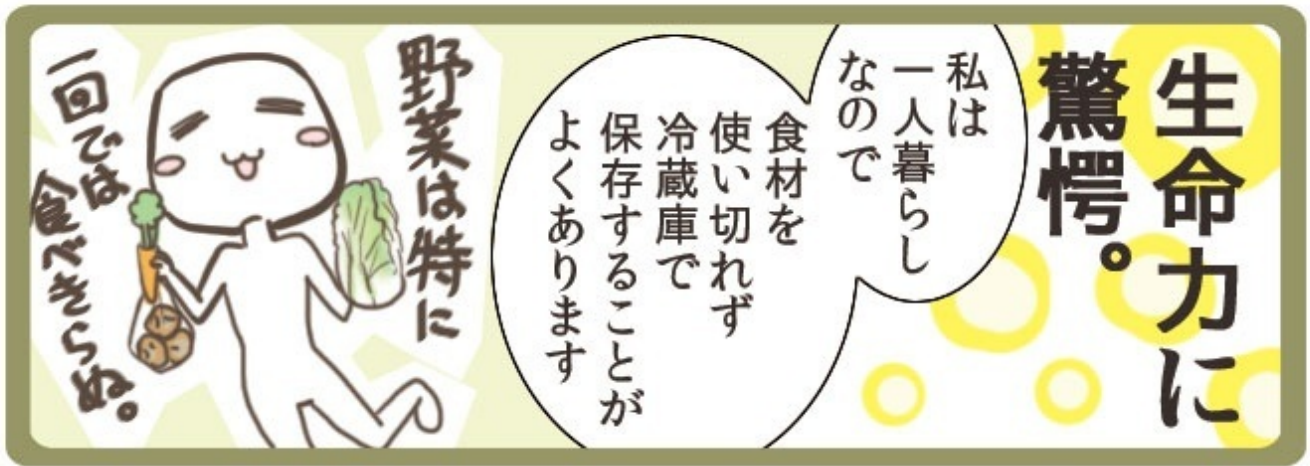
vol.10

漫画

です。

エ
ツ
セイ

これは



② 続けていくための。

続きを
お話する前に
私の現状を
軽くお話
しておきますね

持ち込みは
数回

投稿は数えて
ないので
わかりません

けれど
何か受賞とか
デビューに
繋がるような
出来事は
起こっていない
状態でした

環境に
恵まれてる分
情けないこと
この上ない
ですね

まだだ
だね!

選外
選外
選外
落選

引っ越しを
して

アシスタントの
お仕事の
機会を頂き

モチベーションが
ぐんぐん上がり
ばりばり原稿を
描いていました

そんな矢先の
不幸の封筒
(仮)だった
わけです。

何か空けるの
気が重いな…

でも急ぎの
内容だったら
怖いしなあ…

…見なかった
ことに
出来ないかな…

おい。

③ 続けていくための。

そんな訳で
大変気は
重かったです

好奇心もあり
その日の内に
開封しました

気になるっちゃ
気になるしね。



中には
支払い通知書と
小為替が
入ってありました



そこでやっと
合点が
いきました。

あー…
私入選とか
したんか。

投稿作品は
順位によっては
賞金が出るところに
投稿してました。

さぎでは
なかったか。

しかし…

金額的には
④〜⑩位の
どれかだよな

間違いかじゃ
ないのかなあ

確かめようにも
結果掲載号
持ってないし
もう売って
ないよね？

うーん。

…確かめるまでは
信じられんし
なあ…

何より…

私今
それどころじゃ
ないんだよ！

確定した
結果より

現在進行形の
原稿で頭
いっぱいでした

原稿追い込み
真っただ中で
びびー!!



め切はまだ先だったけど、早く仕上げたい段階に入っていたのです。

④ 続けていくための。

取り組んでいた原稿もある程度落ち着き

改めて封筒に向き合うことになりました

まずは本当に入選したのか確認せねば

うむ。

怖くて為替を現金に変えられぬ。

しかし書店にも行ってみたものの既に結果掲載の号はおいておらず

ネット販売で売つてるところがないかと検索すると...

お！ある！これじゃ！これじゃ！

値段も定価と同じか...

書店にないし買うしかないねえ...

あ！待てよ！これ送料かかるじゃん！

結局割高じゃん！送料！

しかし誌上以外で確認する勇気もないので結局購入となりました



さーて開封♪開封♪

あれ？

これ書店に置いてあったやつじゃん！

送料は自分の勘違いに気づくための勉強代となりました。

最近見ましたわー!!

⑤ 続けていくための。

そんな訳で書店で買えたはずのものの雑誌を割高で購入し

いよいよ確認です

えーと…結果発表のページは…

←何かあせる。

未だに間違いの可能性を疑っているのだから、キキ



あった!

…で私は④〜⑩位の内のどれかだから…

間違いでなければな!

あっ…



結果発表のページには私の作品の名前と

表紙絵のカットがありました

…あった
ほんとにあったあ…

私の漫画が…カットだけではありますが

全国誌にはじめて載りました

間違いでもなく夢でもなく

順位6位
賞金一万円



⑥ 続けていくための。

入選が
現実という
確信を得て

色んな感情が
じわじわと
出てきました

うれしい
なあ…

「結果は
あとから〜」
っていう
先輩の言葉は
本当だった
なあ…



その中でも
一番大きいものは
ほっとした
気持ちでした

頑張る方向
間違つて
なかった…

話に共感して
もらえるもの
に
なっている？

伝えたいことが
伝わるだろうか？

読みにくい
コマ割りには
なっていない？



背景も人物も
今まで異常に
気合いを入れた

プロの仕事を
見せてもらつて
意識も変わった

確実に成長
している
自覚はあつた

それでも



自己満足に
なつて
しまつて
いない？

そんな不安が
あつたのも
本当でした。

良かった
なあ…
良かった

じわりじわりと
増えていくばかり
だつた不安は
この日にリセット
されました。



⑦ 続けていくための。

「評価がなくなるとも
続けていくことが
自信になる。」

ある本で
ある人が
話していた
ことです

確かに
そうだと
思います

「これだけ
描いている」
「これだけ
作っている」
大事なことです

けれど
続けていく
ことにも
困難な面は
あります

モチベーションは
保てるか？

描くための
環境は？

ちゃんと
人に向けた
ものに
なっている？

趣味ではなく
仕事にしたい
以上これは
一番大事です

自己満足じゃ
ダメなんです

私の作品を
前にした人を
追い返すような
ものは
許されません

これ何とも
説明しづらい
のですが...
のぞくはする
万トウけする
作るも描くべき...
と...
人に伝える...
意識を放り...
いけない...
うーん...
むずかしい...
むずかしい...

そんな中届いた
封筒のおかげで
不安は消えました

「もうしばらくは
続けていこう」

そう思える
くらいには

私の心を
支えてくれる
出来事でした



新ジャンル 遭遇。

さてさて
私の漫画
事情の報告が
長くなり
ましたが

今度は
毎度おなじみ
スーパーでの
お話です



スーパーで
ちびっ子
(おそろく兄弟)
に遭遇

店内でかかる
BGMに
体を揺らすような
ちびっ子には
良く遭遇して
いましたが

彼(おそろく
お兄ちゃん)は
ひと味違った
のです



お兄(たぶん)

お弟(たぶん)



歌舞伎!

ジャパニーズ
KABUKI!

イン・スーパー
マーケット!

少年はその後も
しばらく
踊っていました

そして私は
それをしばし
キノコ売り場から
観劇しておりました。



気のせい でしょうか？

プライベート
ブランド
今では
お馴染みのもの
になりましたね

何より
魅力なのは
安さでしょう！

しかし
個人的には
気になる点も
ございます

イトワに
やせこ
私に
やせこ
♡

①全体的に
パッケージの
デザインが
粗い。

これは外見の
話ではなく

利用しやすさに
注目した
デザインのこと
です

空けにくいとか
わかりにくいとか
思うように
そげないとか
多い気がします

なんか
はねる
とか

②品質レベルは
値段相応
たまに安定
しない。

私がそういうのを
たまたま
引き当ててる
だけかも
しれませんが…

あれ？
この海苔
極端に
薄くないか？

カップ麺に
ゲジゲジが
入ったことも
ありました

お湯を
そそぐ
こぼれ
捨てました

食品に要求の
あまりない
私としては
プライベート
ブランド

手頃な価格に
大変助けられて
おります

値段のことを
考えれば
妥協するべき
ところかとも
思うのですが

やはり日本の企業が
作るものならばと
更なる改良改善を
期待して
しまうのです

おれん
19/10
おれん

今日はね。 vol.10

<http://p.booklog.jp/book/65334>

著者：童（旧：歯車童）

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/hagurumawarashi/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/65334>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/65334>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ